

平標山山行報告

【山行日】2025年 6月8日(日) 晴れ

【集 合】岩舟支所 P AM 5:00

【費 用】マイカー1台 : 2,600円

【メンバー】 CL:鈴木ユ、 SL:吉田、
佐藤、田崎、並木、根本、渡邊カ

【コースタイム】岩舟支所 P5:00＝元橋 P7:00/7:20
～平元新道登山口 8:20/8:30～平標山の家
9:30/9:50～平標山 10:50/11:05～お花畑ベンチ
11:20/12:00～平標山 12:15/12:25～松手山
13:30/13:45～鉄塔 14:15～元橋P15:10/15:25＝
岩舟支所 P17:30

去年の同じ時期に平標山に登り、素晴らしいお花畑に出会えた。ところがガスと強風でゆっくりお花を觀賞することが出来ず、山頂からの展望も得ることが出来なかった。山行アンケートでもう一度



平標山のお花畑を見たいとリクエストがあり、リベンジ山行で同じコースを計画した。新入会員の田崎さんが参加され、7 名が岩舟支所を5:00に出発する。北関東道から関越道を走り、月夜野ICで降りて国道17号線を進み元橋の駐車場に着く。駐車場に着いて驚いた、広い駐車場はほぼ満車状態で奥の一段下がった砂利の駐車場に止めることが出来た。出発の準備を整えたらトイレまで移動し、トイレを済ませてストレッチを行い出発する。トイレ脇の道を進むと道路に出て、多くの登山者は道路を左に松手山コースに向かうが、我々は直進し平元登山口に向かう。川沿いの自然林の道を進み、やがて林道に出てしばらく歩くと平元新道登山口に着く。1時間強の歩きは結構きつく、衣服調整して水分を補給する。ここからは本格的な登山道になり、カラマツ林の中をゆっくり登って行く。やがてブナ林の中を登るようになり、九十九折れの急坂を登ると視界が開け、残雪の苗場山に歓声が上がる。小休止後さらに登ると平標山の家が建つ稜線に出る。ここからの展望は素晴らしく、「ウワ～こんなに景色が良いんだ！」と感動していた。今日は晴天に恵まれて仙ノ倉山方面の山々が望め、青空の下残雪とクマザサのコントラストが素晴らしい。展望を楽しみながらリンゴや菓子をいただき、山の家のトイレを借りたら平標山へ向かう。ここからは森林限界を超え展望が良い登山道になり、木製の階段も多く結構きつい登りが続いて行く。



平標山のお花畑を見たいとリクエストがあり、リベンジ山行で同じコースを計画した。新入会員の田崎さんが参加され、7 名が岩舟支所を5:00に出発する。北関東道から関越道を走り、月夜野ICで降りて国道17号線を進み元橋の駐車場に着く。駐車場に着いて驚いた、広い駐車場はほぼ満車状態で奥の一段下がった砂利の駐車場に止めることが出来た。出発の準備を整えたらトイレまで移動し、トイレを済ませてストレッチを行い出発する。トイレ脇の道



イワカガミやショウジョウバカマ、アヅマシヤクナゲ等の花に励まされ、1歩1歩高度を上げて行く。今年は雪が多く中間のベンチが雪で壊されていたが、小休止して水分を補給し呼吸を整える。



ここからも急登が続き田崎さんの息が上がって来たが、「あのピークを越せば山頂は近いよ」と励ましながら登って行く。残雪の中を登る箇所もあり、慣れない方は大変だったと思うが、暑さを一時でも和らげてくれ有り難かった。ようやく平標山山頂に着き360度の大展望に、去年登った並木さんが「こんなに展望が良い山だったんですね、今年また登って良かった」と満足そうに話していた。小休止したら「この山の素晴らしさはこの先にありますからね」と皆

さんに言って、お花畑に向かって下って行く。木製の階段を下って行くと右側にハクサンイチゲの花が出迎えてくれ、さらに下るとハクサンコザクラやミヤマキンバイの可憐な花が目を楽しませてくれる。今年は雪解けが遅く開花が遅れて咲初めで、花数は少ないが色が彩かで美しい。

皆さんも大満足でスマホに収め、「こんなに素晴らしい場所が近くにあるんですね」と驚いていた。

花を楽しんだら鞍部のベンチに場所を取り、お湯を沸かしてランチタイムにする。皆さんカップ麺やスープを作り、景色を楽しみながら美味しそうに食べていた。ランチが済んだらお花畑を後にして平



標山へ戻り、山頂からの展望を楽しんだら下山開始する。下山は松手山へ向かって北西に延びる尾根を下るが、展望が良い上にお花も多いので爽快に下って行く。前方に残雪の苗場山が望め、「こんなに展望が良いコースだったんですね」と驚いていた。登山道にはお花も多くイワカガミやツ



マトリソウ等が多く見られる。ハクサンイチゲが群生する箇所があり、ウワ～凄いと言いながらスマホに収めていた。この先からザレた急坂を下るようになり、滑らぬよう慎重に降りて行く。高度が下がるとお花も変わりムラサキヤシオやチゴユリなどが見られるようになる。松手山で休憩を取り疲れた足を休める。送電塔を過ぎると樹林帯の道を下り。木の根や岩の段差が疲れた足に堪える。ヤマツツジやタニウツギの花に励まされ、樹林帯の道を下り切ると林道に出る。

ここが松手山コースの登山口で、ここから道路を左に進み橋を渡ると駐車場に着く。トイレを済ませ靴を履き替えたら車に乗り帰路に着く。往路を戻り関越道の赤城高原SAで休憩し、高速道路の渋滞も無く順調に走り予定より少し遅れて岩舟支所に帰着した。